

引揚記念館 リニューアルオープン

平成27年
9月
28日



引揚記念館がリニューアルオープン。若い世代へ訴求力のある展示へ。

記憶遺産に登録決定!

平成27年
10月
10日



国際諮問委員会の審査を経て、登録が決定される。



赤れんがパークにて 特別展示

平成26年
12月
1日



引揚記念館リニューアル工事に伴う休館のため、赤れんがパークで特別展示を開始。

音楽劇「君よ生きて」 舞鶴公演

平成27年
7月
4、5日



創作・舞台化へ市が全面協力した音楽劇「君よ生きて」の舞鶴公演を海外引揚70周年事業として開催。その後、全国公演される。



署名が5万人を超える

平成27年
8月
7日



全国からの登録への応援署名数が、5万人の目標を達成。

署名活動が展開される

平成25年
4月



34の市民団体による「ユネスコ世界記憶遺産登録を応援する会」が発足し、署名活動が市内全域と全国、海外で展開される。

登録推進首都圏 キャンペーン

平成25年
11月
平成26年
3月



東京で市長による記者説明会や東京タワーでの企画展、平和シンポジウムなどを開催。

ユネスコへ申請

平成26年
3月
4日



ユネスコ本部（パリ）へ、多々見市長自らが申請。

国内候補に決定

平成26年
6月
12日



日本ユネスコ国内委員会文化活動小委員会で国内候補の2件のうち1件として選定される。

平成24年に始まった引き揚げやシベリア抑留に関する所蔵資料の「ユネスコ世界記憶遺産」への登録を目指した取り組み。登録までの道のりを、写真で振り返ります。

ユネスコ世界記憶遺産
登録決定までの軌跡

Memory of
the World
思いを
ひとつに

舞鶴引揚記念館が市直営に

平成24年
4月

世界記憶遺産登録への 取り組みを表明

平成24年
7月

有識者会議が発足

平成24年
12月



舞鶴市ユネスコ世界記憶遺産有識者会議が発足。

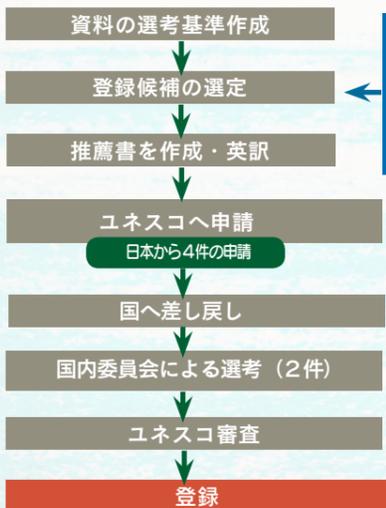
【委員】
東京女子大学 教授 黒沢 文貴 氏（会長）
東京国立博物館 総務部長 栗原 祐司 氏
国立大阪民族学博物館 教授 園田 直子 氏
京都外国語大学 クレイグスミス 氏
舞鶴市産業振興部長 山崎 仁士（発足当時）
砂原 由明（平成25年～）

資料選定のための調査

平成24年
平成26年



所蔵資料約1万2千点の中から、申請資料570点を絞り込むための調査が行われる。



世界記憶遺産登録までの道のり
有識者会議の助言